

ある町の 天気相談所

Vol.97 2026.01.05

令和8年1月号



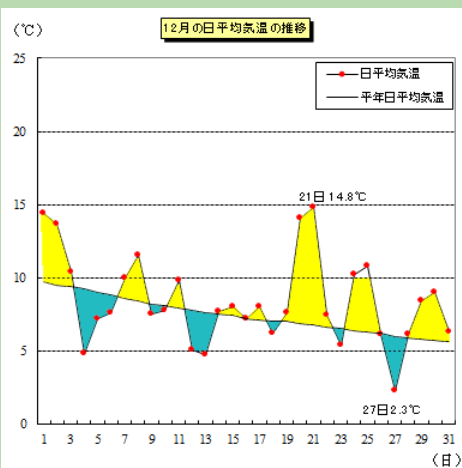
初日の出

1日朝の市役所は、晴れていましたが、水平線には厚い雲があり、日の出の時刻の頃は太陽は見えませんでした。約30分後に雲の上から太陽が出てきました。7時の気温はマイナス0.2度。北の風2.1メートルでした。



12月の気候

12月は、高気圧と低気圧が交互に本州付近を通過し、中旬にかけて晴れの日が多くなりましたが、湿った空気が入りやすくなる時もあったため下旬のはじめは雨の日が多くなりました。気温の変動は大きく、上旬と下旬は高くなったため、月平均気温は8.4度と平年より高くなりました。日照時間は平年並みの183.4時間でしたが、降水量は77.5ミリと平年の166パーセントと多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

はじめ冬型の気圧配置が続く、その後は高気圧に覆われやすいときがあるため、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。平均気温は「ほぼ平年並」、降水量は「平年並みか少ない」、日照時間は、「多い」となる見込みです。

初日の出 (続き)

日の出 (6時50分) 頃は厚い雲に覆われていました。



7時25分頃の神峰山



天気用語の基礎知識

警戒レベルと警報

警戒レベルは防災情報であるため、気象情報である警報等とは一致していない部分もある。警報等と警戒レベルの整合性をはかり、よりわかりやすい警報等にする改正が令和8年5月から行われる予定となっている。大雨、河川氾濫、土砂災害、高潮について、危険警報の新設と、土砂災害警戒情報や指定河川洪水予報等の情報を統一するなどが計画されている。この改正により、警戒レベルの5段階と、早期注意情報、注意警報、警報、危険警報、特別警報の5段階が同一となる。

・・・神峰の山から・・・

ここ数年の元日、市役所上空は晴れていても、海上に雲があることが続いています。冬型の気圧配置のときはよくある現象のため、多いのが当たり前ではありますが、今年は、昨年よりも雲が厚く、太陽が顔を出すまで時間がかかりました。日の出前から屋上に待機し、昨年は10分程度で日が出ましたが、今年は15分たってもでず、一旦部屋に戻り、再度屋上に行きました。30分後の7時20分頃に雲の上から太陽が顔を出し、写真に収めることができました。

氷点下の気温となっていたので、待つのは結構つらいです。